

例和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ明朗快活で心豊かな人間性を養う。		
2 評価する領域・分野	生徒指導		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果から 「本校では、他者を思いやり、感謝の気持ちを育てる教育が行われている。」（肯定評価の割合：生徒93%） 「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている。」（肯定評価の割合：生徒97%）		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 基本的な生活習慣の確立に加え、協調性や思いやりがあり、心豊かで規律正しい人間の形成。 (2) コミュニケーション能力を高め、積極的に行動できる資質を養う。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・企画委員会を中心に、学年、学科等、縦と横の連携を大切にして、迅速かつ適切に対応できる組織とする。		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
① 遅刻生徒の減少に向けて生徒会と共に運動を実施する。 ② 自らすすんであいさつができ、周囲に対する気配りができる人になれるよう、生徒会、MSリーダーズと連携する。 ③ 社会に貢献できるMSリーダーズ活動などのボランティアを、生徒が主体となって、積極的に企画、運営することができるよう、働きかけをする。 ④ 自ら身だしなみを整え、正しい着こなしができるように、働きかけする。	① 遅刻者統計数の結果。 ② あいさつに対して意識、行動が高まったか評価する。職員、生徒の自己評価) ③ MSリーダーズ活動が、参加生徒にとって達成感、充実感のあるものであったか評価する。（参加生徒の自己評価） ④ 身だしなみ指導の前に、自ら着こなしについて評価する。（生徒の自己評価）		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
・生徒の様子を全職員が把握し、タイミングを逃さずに声をかけ、生徒の存在を認める機会を増やすように努めた。 ・MSリーダーズを中心に、100名以上の生徒が自分たちで企画してボランティア活動を行った。また、下校当番やあいさつ運動など定期的活動も行えた。	①朝、自主的な活動の増加により遅刻者は減少した。 ②自己存在感が高まり、自ら進んで挨拶できる生徒が増加した。 ③自主的な活動を行うことで充実感を感じた生徒が多かった。 ④身だしなみチェックシートにより自主的に直せる生徒が増加した。	(A) B C D (A) B C D A (B) C D A (B) C D	
11 成果・課題	○朝の玄関での身だしなみ指導の仕方の変更と、クラスごとによるMSリーダーズによる継続的な挨拶運動によって、正しい身なりと挨拶が習慣化している。 ○MSリーダーズが、自主的にボランティアを企画・実践することによって、善意の行動が広がりを見せている。 ▲自主的なボランティアが、校内で行われるものが多く、委員会等も活発的に活動していないこともあり、地域の役に立つ活動はあまりできなかった。 ▲自転車での自損事故等は減少したが、鍵をかけるように繰り返し呼びかけたが、施錠していない自転車が多くみられた。		総合評価 A (B) C D

## 12 来年度に向けての改善方策案

- ・こまめな身だしなみ指導を継続しながら、校則の改正などをきっかけに、生徒同士で学校をよくしていくような活動を促す。
- ・自主的なMSリーダーズの活動や委員会活動の活性化が、地域の役に立つ内容になるよう、生徒の自主性を引き出しながらアドバイスや情報提供をしていく。生徒にさらなる満足感や充実感を与える。

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月24日

### 【意見・要望・評価等】

- ・本日の学習発表会を見ていると、岡本・山田の生徒が一体感を持って活発に活動している姿が非常に素晴らしく、日頃の先生方の指導の賜物だと考えている。
- ・会社経営のなかで新入社員を見ていると、自己肯定感の高い人は自発的に積極的に取り組みます。そう考えると、学校評価のなかで自分の取り組んでいることを肯定的に捉えている生徒が多いことは素晴らしいことだと思う。